

# 一般質問通告書

平成 24年 2月13日 提出

嵐山町議会議長 長島邦夫 様	議席番号 13	氏 名 渋谷 登美子 印	受付番号
下記のとおり質問したいので通告します。			
	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
1	子どもの貧困への対応	(1)子どもの貧困は世代間連鎖があり、少子化時代においては、嵐山町の子どもの貧困への対策は次世代のまちづくりに不可欠である。町の現状について聞く 乳幼児の子どもの貧困状況把握と対応 小学生の子どもの貧困状況把握と対応 中学生段階での子どもの貧困状況と対応 中学卒業時での子どもの貧困状況と対応 (2) 乳幼児健診を受診しない母子・若年の父母への対応 (3)小中学校の学級崩壊の状況と課題 (4)不登校の子どもの家庭課題の把握 (5)虐待、DVの通告、相談の現状と課題 (6) 子どものいる現役世帯の貧困率は50%、とりわけ母子家庭のこどもの2人に1人は貧困との報告がある。女性への就業支援、精神的サポート、ネグレクト傾向にある家庭への子どものケア(食事・健康等)の支援を聞く (7)一人親家庭へのファミリーサポート事業の周知徹底と利用にあたっての課題 (8)学力の階層格差についてはPISAで明らかになった。学力格差を縮小し、貧困の連鎖を断つため、小・中学校ないしは公共施設における放課後、土・日の無料塾の開催、無料塾の指導は有償ボランティアで行う制度の創設を提案する。検討を求める。	教育長 (答弁書不要)